

「豊岡の宝もの」を守り、まちづくりに活かそう

■ 基本テーマ

“楽しみ”が未来へ伝える ふるさと豊岡の宝もの

■ 基本方針

- 方針1 発見・学びを楽しむ**
「豊岡の宝もの」の理解を深め、新たに発見することを楽しみましょう。
- 方針2 楽しみながら、ともに育む**
「豊岡の宝もの」の価値や魅力を皆で育み、「豊岡の宝もの」に磨きをかけましょう。
- 方針3 活かす楽しみを高め、広げる**
「豊岡の宝もの」をまちづくりや観光などへと活かし、その魅力を広く伝えましょう。

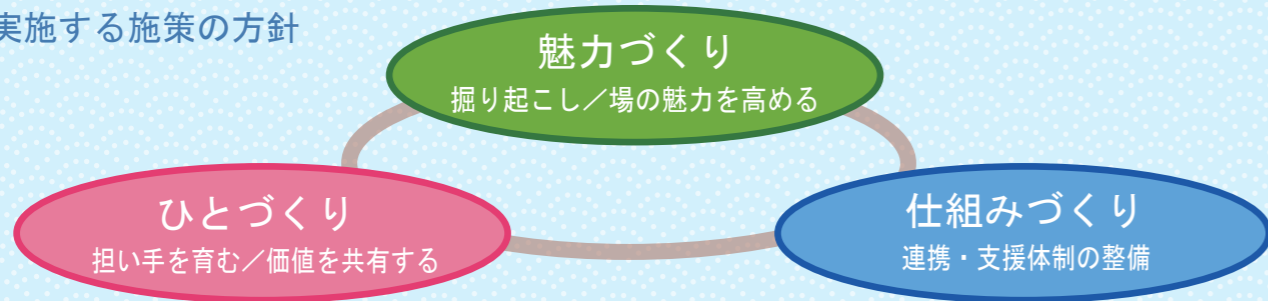
■ 取り組みの進め方

- “楽しみ”づくりに「地域コミュニティ組織」を活かす
「地域コミュニティ組織」を基本単位とし、「豊岡の宝もの」を活かしたまちづくりに取り組みます。
- “楽しみ”をタテとヨコに広げる
次世代（タテ）に引き継ぐ取り組みと、地域内外（ヨコ）への広がりをつくる取り組みを進めます。
- “楽しみ”を通じて、さまざまな担い手が連携・協力する
市民や行政などが「豊岡の宝もの」を“楽しむ”ための役割を認識し、互いに連携・協力して取り組みを進めます。



“豊岡の宝もの”を紡ぐ物語”を活かし、楽しむ取り組みを支える

■ 市が実施する施策の方針



■ 7つの重点施策

(今後5年間に重点的・優先的に取り組む施策)

- 「ふるさと教育」との連携
- 「豊岡の宝もの」を活かした取り組み
- 祭りや伝統芸能の価値の共有と継承支援
- 史跡整備の継続
- 町並みの保存・整備
- 歴史博物館の充実
- ジオパーク活動など関連機関との連携

「豊岡の宝もの」を守り、活かすために

豊岡市歴史文化基本構想【概要版】

■ 豊岡市歴史文化基本構想とは？

市内にある歴史文化遺産は、担い手不足などさまざまな課題を抱えています。豊岡市歴史文化基本構想は、世界に誇る豊岡市の歴史文化遺産を守り、活かすためのマスタープランです。

■ 歴史文化遺産とは？

皆さんの暮らしのなかで大切に守り、受け継がれてきた歴史・文化・自然遺産を「歴史文化遺産」とよびます。

“豊岡市の歴史文化”って何？！

豊岡市には、海・山・川など豊かな自然の恵みが数多く残されています。これらの自然の恵みは、私たちの営みを支えているだけではなく、歴史にも大きな影響を及ぼしてきました。

例えば、日本海をめぐる各地との交流は、アメノヒボコ神話の源となりました。見晴らしの良い山の上には多くの城が築かれ、交通や情報の拠点として機能しました。自然とともに暮らしてきた人々は、自然を信仰の対象とし、多くの祭礼・民俗行事を受け継いできました。

つまり、豊岡市の歴史文化の特徴は、
豊かな“自然の恵み”のもとに繰り広げられる“人々の営み”が育む歴史文化
といえます。



将来に残していきたい歴史文化の7つのテーマ …「豊岡の宝もの」を紡ぐ物語



市の歴史文化を知る上で欠かせない重要な歴史文化遺産や、まちづくりに活かしたい歴史文化遺産が「豊岡の宝もの」です。「豊岡の宝もの」を7つの物語に紡ぎ、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを進めます。

「豊岡の宝もの」を紡ぐ物語

■物語1 アメノヒボコ の伝承

豊岡市内の各地には、“但馬開拓の祖神”とされるアメノヒボコにまつわる神話が多く残されています。出石神社や中嶋神社など、アメノヒボコやその子孫を祭神とする神社が多くみられ、幟まわしなどゆかりの祭礼も受け継がれています。

■物語2 日本海の恵み と人々

日本海の恵みの代表は、豊富で新鮮な魚介類や、竹野浜や気比の浜、はさかり岩などの観光地です。かつて北前船の寄港地として栄えた竹野地域には、強い風雪に耐える焼杉板を住宅の外壁に利用した町並みが、今も受け継がれています。

■物語3 城崎温泉

城崎の魅力は、泉質の良さと温泉街にあります。街を囲む山々や大谿川、木造旅館の佇まいなどが調和した雰囲気は、城崎温泉特有のもの。北但大震災による被害を受けても、その雰囲気を守りながら復興を遂げ、温泉街としての魅力はさらに高まっています。

■物語4 円山川と 暮らし

円山川は、豊かな自然環境のもとで多くの生き物が暮らす楽園です。また、かつては舟運が盛んで、経済や文化の発展に貢献しました。しかし、円山川は時に水害によって私たちを苦しめるため、今なお川の平穏を祈る祭礼が各地で受け継がれています。

■物語5 城と町並み

市内には城跡が150以上あり、人やモノ・情報が集まるネットワークの拠点でもありました。江戸時代には、市内には出石藩・豊岡藩という2つの藩が置かれ、城下町が形成されました。それぞれの町並みは、特色ある風土となり、さらに発展を続けています。

■物語6 神鍋高原を めぐる文化

神鍋山の周りには、7つの火山が知られていて、その溶岩は、滝などの美しい地形を作り出しました。また、大正時代からスキー場の開発が進み、人気を博しています。神鍋高原は、その自然や文化を活かし、四季を通じたリゾート地として発展を続けています。

■物語7 京街道を 行き交う文物

豊岡・出石から但東を経て京都を結ぶ京街道は、江戸時代以降、殿様や庶民が行き交い賑わっていました。多くの道しるべや石仏は、当時の繁栄を偲ばせています。山が多く平地が少ない但東地域の繁栄を支えたのは、京街道を通じた人々の交流でした。

「豊岡の宝もの」

自然資源

自然の恵みによる資源

- ・日本海
- ・豊岡盆地
- ・円山川
- ・出石川



日本海(但馬海岸)



豊岡盆地

- ・竹野浜
- ・はさかり岩
- ・宇日流紋岩の流理
- ・畑上の大トチノキ
- ・絹巻神社の暖地性原生林



はさかり岩



畑上の大トチノキ

- ・源泉
- ・大谿川
- ・来日岳
- ・戸島湿地

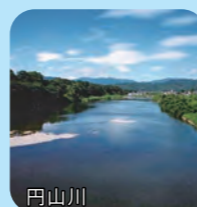


大谿川



来日岳

- ・円山川
- ・コウノトリ
- ・オオサンショウウオ
- ・玄武洞
- ・汽水城
- ・ヨシ原
- ・円山川河畔林



円山川



玄武洞

- ・平地を見下ろす山々
- ・円山川
- ・出石川
- ・玄武岩
- ・陶石



出石から見える山々



出石焼陶石採掘地

- ・神鍋山と神鍋高原
- ・神鍋溶岩流
- ・湧水
- ・アベサンショウウオ
- ・欽山



神鍋山と神鍋高原



神鍋溶岩流

- ・一宮神社のケヤキの森
- ・郷路岳
- ・東里ヶ岳



一宮神社のケヤキの森



一宮神社のケヤキの森

文化資源

自然とともにある生活文化の資源

- ・瀬戸の岩戸
- ・幟まわし
- ・農業



瀬戸の岩戸伝承地



幟まわし

- ・漁業
- ・海の食文化
- ・焼杉板の町並み
- ・浜施餓鬼



「津居山かに」



浜施餓鬼

- ・温泉街の町並み
- ・温泉付随伝承
- ・湯祈祷
- ・古式入浴作法
- ・文芸創作
- ・城崎だんじり祭り
- ・麦わら細工



城崎だんじり祭り



麦わら細工

- ・杞柳細工
- ・豊岡鞆
- ・柳まつり
- ・川濯祭り



豊岡鞆



川濯祭り

- ・出石伝統的建造物群保存地区
- ・出石皿そば
- ・大名行列槍振り
- ・出石焼

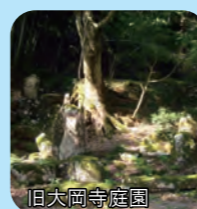


出石焼と出石皿そば



大名行列槍振り

- ・旧大岡寺庭園
- ・ヤチャ踊
- ・スキー
- ・但馬牛
- ・ワサビ栽培
- ・養蚕
- ・林業



旧大岡寺庭園



神鍋スキー

- ・笹ばやし
- ・太刀振り
- ・大生部兵主神社の例大祭
- ・但馬ちりめん
- ・農村歌舞伎
- ・安国寺のドウダンツツジ



太刀振り



但馬ちりめん

歴史資源

人々の営みが生み出した資源

- ・出石神社
- ・御出石神社
- ・鷹貴神社
- ・中嶋神社
- ・森尾古墳
- ・袴狭遺跡
- ・入佐山3号墳
- ・鉄製品



出石神社



入佐山3号墳出土鏡

- ・ヨゴレババ古墳群
- ・風谷古墳
- ・北前船
- ・鷹貴神社
- ・住吉屋歴史資料館



ヨゴレババ古墳群



飾千石船

- ・温泉街の町並み
- ・温泉寺
- ・四所神社
- ・湯島舟



温泉寺本堂



温泉街の夜景

- ・久久比神社
- ・中谷貝塚
- ・二見谷古墳群
- ・国府と国分寺
- ・木箱
- ・舟運



久久比神社



但馬国分寺跡

- ・山名氏城跡
- ・楽々城跡
- ・亀ヶ城跡
- ・円通寺
- ・出石城跡
- ・豊岡陣屋跡
- ・豊岡震災復興建築群
- ・鉄道遺産



山名氏城跡(有子山城跡)

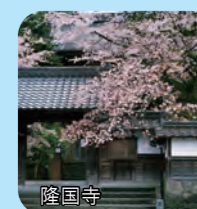


豊岡震災復興建築群

- ・岩倉古墳群
- ・欽山跡
- ・大岡寺
- ・隆国寺



岩倉古墳群



隆国寺

- ・日出神社
- ・栗尾古墳
- ・木造薬師如来坐像
- ・久畑関所跡



日出神社



久畑関所跡